

世界から猫が消えたなら ロケ地MAP

1 はこだて工芸舎



映画館という設定で、撮影が行われました。函館市電「十字街」電停を降りてすぐの場所で、はこだて工芸舎が昭和初期の建物をリノベーションし、工芸品を展示販売しています。

函館市末広町8-8
お問い合わせ先 0138-22-7706

2 民宿 室屋



温泉街の旅館という設定で、僕が両親と宿泊するシーンが撮影されました。建物の外観は登場しませんが、落ち着いた和風建築の佇まいで、民宿として営業しています。

函館市大町9-17

3 モストゥリー



カフェという設定で、僕が昔の彼女と会うシーンが撮影されました。明治末期に建てられたレトロな建物で、映画の中での設定と同様にカフェとして営業しています。

函館市大町9-15
お問い合わせ先 0138-27-0079

4 西埠頭



街中の道という設定で、僕が意識を失い、自転車ごと道に倒れるシーンが撮影されました。撮影場所は、プレジャーボートが係留されている埠頭です。

函館市弁天町27-2付近

5 すがたみざが 姿見坂



雨の町という設定で、僕がずぶぬれになりながら、意識が混濁し、転んでうずくまるシーンなどが撮影されました。撮影場所は矢本商店すぐ近くの交差点になります。

函館市弥生町8-16付近

6 元町公園近くの道路



雨の町という設定で、僕がずぶぬれで走りながら、キャベツを探すシーンが撮影されました。撮影場所は、元町公園のすぐ近くにある道管住宅東坂団地の前の道路となります。

函館市弥生町1付近

7 あおやぎちよう 青柳町会館



郵便局(外観のみ)という設定で、配達から戻ってきた僕が自転車を停めるシーンが撮影されました。青柳町会館の前が青柳坂となっており、坂の上からは、津軽海峡を見渡すことができます。

函館市青柳23-18
お問い合わせ先 0138-22-1392

8 サテンドール



喫茶店という設定で、僕がオムライスを注文するシーンが撮影されました。映画の中の設定と同様に喫茶店として営業しています。

函館市若松町17-7
お問い合わせ先 0138-23-0568

9 函館市電



劇中では、何度か電車に乗っているシーンがあります。撮影で使用した電車はレトロ感が人気の「5 3 0号車」です。

お問い合わせ先
企業局交通部 0138-52-1273

「世界から猫が消えたなら」の函館ロケについて

2014年10月8日から10月28日まで、函館市内各所で撮影が行われました。このロケ地マップで紹介させていただいている9か所の他にも、市電十字街電停、函館市地域交流まちづくりセンター前、北海道教育大学函館校、函館大学、銭亀沢支所、南茅部病院、ミングル函館店、函館駅前の都心商店街、シネマアイリスなどでも撮影がおこなわれました。

